

ASIAN AND MIDDLE EASTERN STUDIES TRIPOS Part 1B

Japanese Studies

Thursday 9 June 2011 09.00 – 12.00

J.7 LITERARY JAPANESE

Answer BOTH sections and ALL questions

Write your number not your name on the cover sheet of each Answer Book.

STATIONERY REQUIREMENTS

20 Page Answer Book x 1

Rough Work Pad

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed that you may do so by the Invigilator

SECTION A

- 1 Translate the following passage into English, adding notes where you think they are needed. The headnotes with Japanese numerals are for reference. Do not forget the vocabulary items at the end on page 4 [45 marks].

五島の番人。島に残つて、ずっと島から離れず、一人で暮らす(ことを余儀なくさせられた)境涯を島守といつたもの。

六嘆かわしく、情けないの意。

七目をかけて。かわいがつて。

八諸本により、三人兄弟の中の一人であつたとするもの、また兄弟の名を龜王、または松王と記すものもある。有王という名には、特別な宗教的意味があるとする柳田国男・佐竹昭広の説がある。長門の住人黒居三郎の子とする。

九機会の意。

一〇「賜びたりけり」の音便。お与えになつた。

一一こでは、宋と行き来する交易船。

一二夏衣と「たつ(裁つ)」は縁語で、「たつ」には「夏が立つ」がかけられている。和歌に多く見られる修辞。ここは、夏になるのを待ちつかねて、の意。「夏のはじめによみ侍りける／花ぢるといひし物をなつ衣たつや遅きと風を待つかな」(拾遺・夏盛明のみ)。

一三もどりを束ねて結ぶ紐。

さる程に鬼界(きかい)が島へ、三人ながされたりし流人(りんじん)、二人は召しかへされて、都へのぼりぬ。俊寛僧都一人、うかりし島の島守(しまもり)になりにけるこそうたてけれ。僧都のをさなうより不便(ふびん)にして召しつかはれける童(わらば)あり。名をば有王(ありわう)とぞ申しける。鬼界が島の流人、今日すでに都へ入ると聞えしかば、鳥羽まで行きむかうて見けれども、わが主はみえ給はず。いかにと問へば、「それは猶つみあかしとて、島にのこされ給ひぬ」ときいて、心うしなんどもおろかなり。常に六波羅辺にたたずみありいて聞きけれども、いつ赦免(しゃめん)あるべしとも聞きいださず。僧都の御娘のしひびておはしける所へ參ッて、「この瀬(せ)にももれさせ給ひて、御のぼりも候はず。いかにもして、彼島(かれしま)へわたつて、御行衛(ゆくゑ)を尋ね参らせんとこそ、思ひなつて候へ。御ふみ給はらん」と申しければ、泣く／書いてたうだりけり。暇(ひま)をこふともよもゆるさじとて、父にも母にも知らせず、もろこし船のともづなは、卯月五月にとくなれば夏衣たつを遅くや思ひけん、やよひの末に都を出でて、多くの浪路(なみぢゆ)を凌ぎつつ、薩摩潟(さつまがた)へぞ下りける。薩摩より彼島へわたる船津にて、人あやしみ、着たる物をはぎとりなんどしけれども、すこしも後悔せず。姫御前(ひめこぜん)の御文ばかりぞ、人に見せじとて、もとゆひの中に隠したりける。さて商(あき)

question continues

一巻「大納言死去」(一六六一)
 行)に、同じような鬼界が島の描
 写がある。また流布本『保元物語』
 下に、「さて島をめぐりてみ給ふ
 に、田もなし、島もなし。菓子も
 なく、絹綿もなし」という鬼が島
 の描写がある。

二「山遠クシテハ雲行客ノ跡ヲ埋
 ム、松葉クシテハ風旅人ノ夢ヲ破
 ル」(和漢朗詠集下・雪)。

三青葉を吹きわたる風。

四「沙頭ニ印ヲ刻ム鷗ノ遊ブ処々
 水庭ニ書ヲ模ス雁ノ度タル時」(和
 漢朗詠集下・水付漁父 大江朝綱)。

五群がり集まる。群れて鳴くの意
 に用いることがある。

六「跡とあは、普通は死者を弔う、
 死者のゆかりを訪ねる、遺された
 跡を訪れて追憶にふける意である
 が、ここは俊寛の行方を尋ねるべ
 き者の意。

「いさとよ、さまの人は、三人是にありしが、一人は召しかへ
 されて、都へのぼりぬ。今一人はのこされて、あそこ爰にまど
 ひありけども、行ゑも知らず」とぞいひける。山のかたのおぼ
 つかなきに、はるかに分け入り、峰によぢ、谷に下れども、白
 雲跡を埋んで、ゆき来の道もさだかららず、青嵐夢を破つて、
 その面影も見えざりけり。山にては遂に尋ねもあはず、海の辺
 について尋ねるに、沙頭に印を刻む鷗、沖の白洲にすだく浜千
 烏の外は、跡とふ者もなかりけり。

人船に乗ッて、件の島へわたツてみるに、都にてかすかにつた
 へ聞きしは、事のかずにもあらず。田もなし、島もなし。村も
 なし、里もなし。おのづから人はあれども、いふ詞も聞き知ら
 ず。もしか様の者共の中に、わが主の行ゑや知りたる者やあら
 んと、「物申さう」といへば、「何事」とこたふ。「是に都より
 ながされ給ひし、法勝寺執行御房と申す人の、御行ゑや知り
 たる」と問ふに、法勝寺とも執行とも、知ッたらばこそ返事も
 せめ、頭をふッて、「知らず」といふ。其中にある者が心得て、

question continues....
 (TURN OVER)

‘Ariō’ from *Heike monogatari*, Chapter 3 (NKBZ, vol. 29, pp. 226–28).

Vocabulary

流人 someone who has been exiled, in this case to an island.

をさなう = をさなく

心うしなンどもおろそかなり

to say he was distraught would be an understatement

六波羅 [the main administrative quarters at] Rokuhara

赦免 pardon

御行衛 his situation, fate

ともづなをとく to set sail

夏衣たつ as note 12 explains ‘summer departure’

船津 harbour

もとゆひ topknot

物申さう ‘excuse me’

鴎 seagull

浜千鳥 plover

SECTION B

- 2a Translate the following passage into English;
[15 marks]

アヤシキ事ハ、薪ノ中ニ、アカキ丹ツキ、薄フ
 ナド所ノニ見ユル木、アヒ雜ハリケルヲ、尋ヌレバ、スペキカタ
 ナキ物、古寺ニイタリテ仏ヲヌスミ、堂ノ物具ヲ破リ取りテ、破リ
 碎ケルナリケリ。濁惡世ニシモ生マレアヒテ、力、ル心ウキ事ヲ
 ナン見侍シ。イト哀レナル事モ侍キ。去リガタキ妻・夫持チタル

question continues
(TURN OVER)

物ハ、ソノ思ヒマサリテ深キ物、必先立チテ死ヌ。ソノ故ハ、ワ
 ガ身ハ次ニシテ人ヲ労ハシク思ファヒダニ、マレ得タル食物ヲ
 モ彼ニ譲ルニヨリテナリ。サレバ、親子アル物ハ、定マレル事ニテ、
 親ゾ先立チケル。又、母ノ命尽キタルヲ不知シテ、イトケナキ子ノ、
 ナヲ乳ヲ吸イツ、臥セルナドモアリケリ。仁和寺ニ隆曉法印トイフ
 人、カクシツヽ数モ不知死ル事ヲ悲シミテ、ソノ首ノ見ユルゴトニ、
 額二阿字ヲ書キテ、縁ヲ結バシムル事ヲナンセラレケル。

Kamo no Chomei, *Hōjōki* (SNKBT, vol. 39, pp. 12–13).

2b. Explain the grammar of アヒ雜ハリケルヲ、尋ヌレバ [5 marks]

2c. Explain the grammar of 縁ヲ結バシムル事ヲナンセラレケル。 [5 marks]

- 3 Write a commentary in English on the following passage: [20 marks].

むかし、おとこ、うゐかうぶりして、平城の京、春日の里にしるよしして、
 狩に往にけり。その里に、いとなまめいたる女はらから住みけり。このおとこ、
 かいまみてけり。おもほえずふるさとに、いとはしたなくてありければ、心地
 まどひにけり。おとこの著たりける狩衣の裾を切りて、歌を書きてやる。その
 おとこ、しおぶすりの狩衣をなむ著たりける。

かすが野の若紫のすり衣しのぶのみだれ限り知られず
 となむをいつきていひやりける。ついでおもしろきことともや思(ひ)けん。
 みちのくの忍(ぶ)もぢぢり誰ゆ(ゑ)へにみだれそめにし我ならなくに
 といふ歌の心ばへなり。昔人は、かくいちはやきみやびをなんしける。

Ise monogatari, dan 1, Iwanami NKBT, vol. 9, p. 111.

(TURN OVER)

- 4 Translate the following passage into English [5 marks] and then write a short commentary [5 marks]

卯月朔日、御山に詣拜す。往昔此御山を二荒山と書きしを、空海大師開基の時
 日光と改給ふ。千歳未來をさとり給ふにや、今此御光一天にかゝやきて、恩
 沢八荒にあふれ、四民安堵の栖穏なり。猶憚多くて筆をさし置ぬ。
 あらたうと青葉若葉の日の光

Matsuo Bashō, ‘Oku no hosomichi’, *Bashō bunshū* (NKBT, vol. 46), p. 72.